

(様式6)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成20年8月2日

【評価実施概要】

事業所番号	2870900145		
法人名	株式会社アクティブライフ		
事業所名	アクティブライフ夙川		
所在地	兵庫県西宮市樋之池町16-4 (電話)0798-70-2700		
評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号		
訪問調査日	平成20年6月25日	評価確定日	平成20年8月18日

【情報提供票より】(20年5月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成11年8月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	25人	常勤12人, 非常勤12人, 常勤換算	15.4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	3階建ての2.3階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	347,950円	その他の経費(月額)	26,381円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	210円	昼食	420円
	夕食	525円	おやつ	105円
	または1日当たり 1,260円			

(4) 利用者の概要(5月31日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	5	要介護2	3		
要介護3	3	要介護4	5		
要介護5	2	要支援2			
年齢	平均 83歳	最低	70歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	竹政クリニック・宮腰歯科
---------	--------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>間近に緑の山が見える住宅の中に中にあるグループホームは地域社会との関わりを大切にしながら、ご利用者を、尊敬する人生の先輩として接し、家庭的な雰囲気の中で安心して自立した日々を過ごしていただけるようサポートしている。利用者への対応は丁寧で細やかな配慮が見られ、声かけもプライバシーに配慮されている。定期的な健康診断、ご利用までのかかりつけ医への受診の継続等、ご利用者・家族の希望に添った医療が受けられるよう支援している。また必要時には、訪問看護・訪問介護事業所と連携をとり身体面への管理がなされている。</p>

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)</p> <p>改善計画シートを使用して、ターミナルケアについてマニュアルの見直しを実施。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:第三者4)</p> <p>第三者評価をサービス見直しの機会としてとらえ、ミーティングの時間を利用して項目別に聞き取り記入、管理者が集約している。評価を計画的・継続的に取組み、GHの質の確保に最大限活かす努力をしている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:第三者4,5,6)</p> <p>2~3ヶ月に1回開催している。参加者は、ご家族・民生委員・市職員・責任者・知見者など、GHの状況報告や家族から意見を伺いグループホームへの理解を深める機会になっている。また、第三者評価の取組みや改善など報告内容に含まれており、評価と運営推進会議を一体的にとらえ活かしている。市が開催する研修などに参加している。運営推進会議などにおいて運営やGHの実情等を積極的に伝える機会としている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)</p> <p>定期的にGHでの生活状況をお手紙で報告している。急な変化があった場合はその都度電話で連絡し個別の報告を徹底するよう心がけている。ご家族が意見・不満・苦情を伝えやすいような雰囲気作りをはじめとし、意見・不満・苦情を運営に反映させるため年1回ご家族にアンケートを実施し結果と対応をご家族に報告、サービスの質の向上に積極的に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)</p> <p>地域で行われる活動へ積極的に参加し利用者が地域で暮らし続けるための基盤作りを行っている。また、西宮市キャラバンメイトに登録し、認知症の方々に対する理解を深めてもらうための講演会などを通して地域との交流に取り組んでいる。</p>

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初からの理念である「地域と共に」を基に地域の中でその人らしく暮らすことの大切さを理解した理念を事業所独自の理念として掲げ実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ネームの裏に10の約束として理念を具体化したものを常に携帯し、実践の場で確認ができるようにしている。また、管理者・職員は理念の実践について業務を振り返り、意見交換をする機会を設けている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域で行われる行事へ積極的に参加し利用者が地域で暮らし続けるための基盤作りを行っている。また、西宮市キャラバンメイトに登録し、認知症の方々に対する理解を深めてもらうための講演会などを通して地域との交流に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	第三者評価をサービス見直しの機会としてとらえ、ミーティングの時間を利用して項目別に聞き取り、記入したものを管理者が集約している。評価結果を計画的・継続的に取組み、サービスの質の確保に最大限活かす努力をしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2～3ヶ月に1回開催している。ご家族・民生委員・市職員・責任者・知見者の参加し、GHの状況報告や家族から意見を伺い、グループホームへの理解を深める機会になっている。また、第三者評価の取組みや改善など報告内容に含まれており、評価と運営推進会議を一体的にとらえ活かしている。		
6	9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市が開催する研修などに参加している。運営推進会議などにおいて運営やGHの実情等を積極的に伝える機会としている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	グループホームでの生活状況をお手紙で定期的に報告している。また、家族の訪問時一人ひとりの状況を伝え、希望・要望などを聴取している。急な変化があった場合はその都度電話で連絡し個別の報告を徹底するよう心がけている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族からの意見・不満・苦情が伝えやすい雰囲気作りをはじめとし、意見・不満・苦情を運営に反映させるため年1回ご家族にアンケートを実施し、結果と対応をご家族に報告、サービスの質の向上に積極的に取り組んでいる。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動・離職を最小限に抑えるため、全職員の社員化への働きかけ（パート職員の準社員化移行実現）人事考課の導入及び法人全体で繰り返し行われる計画的な研修による職員育成の充実等、離職を防ぎ、サービスの質を確保するための取組みが積極的になされている。また、現在講師を招いて定期的に行われている職員の心のケアについても今後も継続が確定している。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員各自に応じた段階的・計画的な学びができるよう採用時研修、現任者研修は法人が中心となり年間計画に添って、全職員が受講できる研修の機会を設定し、職員の育成に力を入れている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>同施設間の交流を中心に、他施設との交流も行われている。また、市が開催するサクラ会に積極的に参加している。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者が安心してサービスの利用ができるよう見学はもとより家族と一緒に過ごす時間を大切にしながら、職員との馴染みの関係を早期に築ける対応を心がけ、納得して入居できるよう取り組んでいる。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、日常的にご利用者一人ひとりと接していく中で、さまざまな場面において、一人ひとりの尊厳を尊重しながら人生の先輩であるご利用者から学ぶ姿勢で接している。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族や介護支援専門員からの情報をもとに日々の関わりを通して、思い・希望・意向の把握に努めている。把握が困難な場合においても、数少ない言葉やしぐさから思いを汲み取るよう心がけている。		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者の生活背景を把握した個別計画が作成されている。月1度のモニタリングの実施及び変化時の計画変更など本人本位の計画作成に取り組んでいる。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月の定期的なミーティングでスタッフからの情報を基に見直しを実施している。状況変化時はご家族に電話連絡した上で、家族からの要望を検討し、計画の見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々 ^の 要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者の希望に添って、買い物・散歩等個別の支援が行われている。医療・訪問看護・訪問介護事業所と連携をとり身体面への管理がなされている。認知症の方の理解を深めていただくため地域の方々に対して講義などを実施しGHの理解はもとより、地域で暮らす認知症の方々への対応について情報を提供している。		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な健康診断、本人及び家族の希望によるかかりつけ医への受診の継続等、安心して医療が受けれるよう支援している。通院時の情報交換も双方が共有できるよう電話連絡を密にとり確認し合っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	法人で統一されたマニュアルが作成されており、関係者間の統一を図るため、マニュアルの見直しを行い、細かく記入して関係者に浸透させるよう何度も話し合いを重ねている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシー保護・個人情報保護については、職員の研修内容の充実を図り、自尊心を傷つけない対応のあり方や、個人情報漏洩防止の徹底を図っている。利用者への対応は丁寧で細やかな配慮が見られ、声かけもプライバシーに配慮されている。接遇全体にご利用者への尊厳が尊重されており、家庭的な雰囲気の中で安心して穏やかに過ごされている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入所時の利用者・家族からの情報や入所後の生活の中で収集した情報を基に、ご本人が望む過ごし方やペースに合わせ、一人一人の状況に応じ、職員が個別に対応するなど、その人らしく過せるように支援している。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>ご利用者一人ひとりの力を活かしながら職員が一緒に行ったり、見守りの中で利用者が行うなど、力量が発揮できるように常に心がけている。また、季節を感じるような食事内容を取り入れて楽しく食べることができるよう支援している。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>ご利用者の希望に合わせた時間帯での入浴が可能であり、個浴で入浴が楽しく、季節を感じる事が出来よう支援している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活背景から楽しみごとや経験を活かした役割を一人ひとりのペースで行えるように配慮しながら参加を促し、場面作りを行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に外出ができるよう同系列事業所の職員の協力を得ながら、スーパーや近くの公園、季節を楽しむための外出支援を行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び管理者は鍵をかけることの弊害を理解した上で安全を考慮しながら鍵をかけないケアの実践に取り組んでいる。ご利用者の外出希望に添って職員が同行し、閉塞感を与えない支援が行われている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署の指導のもと消防訓練を実施している。災害に備えた備蓄も準備しており、内容についてはその都度検討して追加していくようにしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>カロリー・栄養バランスについて定期的に栄養士とミーティングを行い、栄養摂取に配慮している。食事量や水分のチェックを行い職員間で情報を共有できるようにしている。水分や食事の取り辛い方に対しては、キザミ食やミキサー食で対応し、お茶のゼリー・水のゼリーで対応して水分摂取の確保に努めている。</p>		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>グループホームの玄関入り口は明るく、誰もが自由に出入りできるようにオープンになっている。玄関や廊下などには季節の花々が飾られ、共有空間には椅子を置きやすさのある空間作りがなされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各お部屋には 入り口に表札を掲げお部屋間違いのない様になっており、室内は使い慣れた品々を使いやすいように置き、穏やかに安心して過ごせる場所になるよう支援している。</p>		

 は、重点項目。